

■開催趣旨

次代を担う子どもたちが、いつ、どこで起こるかわからない災害に向けて、自分自身が暮らす地域では、どんな備えがしてあるか、見て歩き、これからの地域での暮らし方を考える防災まちあるきの実施

■期日

2015年6月21日（日）9：00～12：00（3時間）

■会場

加古川市加古川公民館 2階 視聴覚室

■参加者

23名（子ども10名、子ども会育成者13名）

■概要

災害への備えの大切さを伝える防災活動ハンドブック「子ども会でまなぼうさい活動BOOK」をもとに、体験学習としての防災まちあるきを体験し、防災・減災に向けて日ごろからの暮らし方を考えた。

■実施スケジュール

時間	内容
9：00	あいさつ 加古川市少年団指導者協議会会長 原忠司
9：05	オリエンテーション
9：15	お話し「まちの防災・減災について」語り部 渡邊光弘
10：00	まちの再発見！防災まちあるき ・アイスブレーキング ・まちを歩いて探検する時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをまとめる時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをわかちあう時間 ・体験から感じたことをわかちあう時間
12：00	あいさつ 加古川市少年団指導者協議会会長 原忠司

■プログラム運営チーム

講師（語り部） 加古川市少年団活動支援部 渡邊光弘
スタッフ・記録 5月12日の研修を受けた防災リーダー 6名

■会場の様子



語り部



まちあるき



まとめ



発表

■こどもたちによる防災の心得

- ・いつ災害がおこっても大丈夫なように心構えを持つ
- ・普段から周りに気を付けて歩く
- ・広く安全なところに逃げる用意をする
- ・避難場所を知っておく
- ・逃げるときには忘れ物をしない
- ・もっと自分のまちをよく知る
- ・自分を助けみんなを助ける